

学年・教科・担当者	1年 社会科（地理的分野） 宮本 貴史
-----------	---------------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4 5	第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	・世界の六つの州と主な国の位置や名称、緯度と経度のしくみなどを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりすることができる。 ・国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化がわかることや、様々な種類の世界地図の特色を考察することができる。 ・地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究することができる。 ・世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算したりすることができる。 ・世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察することができる。 ・世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
	6 7	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	・世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連付けて理解することができる。 ・世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連付け、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。 ・世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追及しようとしている。
2	9 10	第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州 第2節 ヨーロッパ州	・多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解することができる。 ・アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結びつきなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ・急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を主体的に追究しようとしている。

			・ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解することができる。 ・国同士や他地域との結びつきに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。
11 12	第3節 アフリカ州 第4節 北アメリカ州		・アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。 ・輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察することができる。 ・アフリカ諸国が抱える問題について、モノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、問題の解決を主体的に追究しようとしている。 ・世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。 ・北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活を基に、多面的・多角的に考察している。 ・世界に大きな影響を与えている北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。

3	1	第5節 南アメリカ州 第6節 オセアニア州	・多様な文化を受け入れながら、独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長を理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめることができる。 ・ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。 ・近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究しようとしている。 ・オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。 ・オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国々と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。 ・オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究している。
	2		
	3		

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	・定期テスト ・小テスト ・レポート など
思考・判断・表現	・定期テスト ・課題 ・発表 など
主体的に学習に取り組む態度	・授業に取り組む姿勢 ・課題 ・ノート など